

# 議 事 録

会議名	第1回 福岡市地域公共交通計画協議会
日時	令和6年10月30日(水) 17時15分～18時00分
会場	西日本新聞会館 16階 「天神スカイホール メインホールB」
議事	福岡市地域公共交通計画の策定について
出席者 (敬称略)	稲永委員、松永委員、小山委員、高橋委員、砥上委員、白津委員、三根委員、末崎委員、荒牧委員、内野委員、壺岐委員、吉岡委員、古城委員(代理:高崎氏) オブザーバー:鈴木氏、辻氏、伊藤氏、木場氏、窪西氏
発言者	発言要旨
事務局	<開 会> ※住宅都市局交通計画課長より挨拶
事務局	<委員・オブザーバー紹介>
事務局	<要綱の説明>
事務局	<会長の選出> ・稲永委員を会長、松永委員を副会長として選任する。
会長	・議事について事務局より説明いただきたい。
事務局	<説明>
会長	・事務局から説明のあった議事について意見や質問等があればお願いします。 <意見なし>
会長	・続いて、事務局から説明のあった都市交通基本計画に位置づける主な施策の中で、地域公共交通計画で具体化したい取り組みについて、目標像Iに関して意見ををお願いします。
委員	・方針1「持続可能な総合交通体系の構築」の中で、「持続可能で効率的な公共ネットワークの構築」・「幹線・フィーダー化の推進」と、「交通結節機能の充実・強化」については、セットで考えられるべきと捉えている。具体的なエリアとしては、幹線・フィーダー化については、バスの運行回数が比較的多いところが幹線の候補としてまずあがってくるが、道路空間等、走行が可能かどうかの確認等も必要であり、今後検討していきたいと考えている。
会長	・「幹線・フィーダー化の推進」と「交通結節機能の充実・強化」について、セットで推進すべきということを提案いただいた。
委員	・「持続可能で効率的な公共交通ネットワークの構築」、「幹線・フィーダー化の推進」に関連して、フィーダーシステムの効率化として連節バスの導入や、交通結節機能の充実、新たなサービス・技術の利活用としてMaaSや電動キックボード等のラストワ

	<p>ンマイルなどの導入を盛り込んでいただきたい。導入箇所については、九大学研都市駅周辺を想定している。</p>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MaaSについては、福岡県や九州MaaSの取り組みとの連携も含めて検討いただきたい。MaaSについては狭い領域で考えるものではないと思う。</li> <li>・全体の話として、どの施策も取り組むべきものではあるが、重点的に取り組むものを定めることも考えても良いと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市交通基本計画で本市全体の交通政策を網羅する形で施策を整理している。地域公共交通計画については、特に地域公共交通に関連する施策を都市交通基本計画からまとめなおし、様々な制度の活用等も見据えて具体化することでより施策を推進していくことを考えている。</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「様々な関係者が連携した運転手不足への対応の推進」について、交通事業者の現状を踏まえるととても大事な観点だと思う。現段階で具体的な取組の案や方向性などがあれば教えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「様々な関係者が連携した運転手不足への対応の推進」は、非常に重要な取り組みと考えている。現時点では、市独自での取組みというよりも、県の運転手確保に関する実行委員会と連携しながらの取組みを想定した記載になっている。都市交通基本計画の方では、この取組みの重要性を記載した上で、今後も具体的な施策を引き続き検討していきたいと考えている。</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針2について、新しい施策だけではなく、従前から取り組んでいる施策として、例えば「パーク・アンド・ライドの推進」や「モビリティ・マネジメントの推進」等がある。従前から進めてきた施策に対して現時点での具体化するイメージを教えてください。例えば、パーク・アンド・ライド推進やモビリティ・マネジメントについては、課題等を踏まえた上で、何か従前とは違うことに取り組むことを想定して記載しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市ではパーク・アンド・ライドの取り組みとして、通常のパーク・アンド・ライドに加え、商業施設と連携した取り組みを積極的に進めている。モビリティ・マネジメントについても、転入者や小学生に対してのモビリティ・マネジメント等を行っている。</li> <li>・これらの取り組みに関しては継続的な意味合いで記載している。充実・強化すべきものがあれば取り組んでいきたいと考えている。現時点でパーク・アンド・ライド、モビリティ・マネジメントについて、具体的に強化していく施策があるわけではない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針2「市民や来街者にとって、分かりやすく使いやすい交通環境づくり」に関して、今後10年の来街者の中にはかなりの数のインバウンドの方が含まれる。インバウンドの方は、来訪手段としては飛行機を使用する。国際線ターミナルの整備が進み、第2滑走路も新設予定のため、ターミナルから都心へのアクセスが重要になってくると考えるが、そういった内容を方針2の主な施策に追加するなど考えられるのでは。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際線ターミナルと都心へのアクセス強化については、具体的にどのような取組み内容をイメージしているか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、国際線ターミナルから都心に向かうアクセスが初見の方には分かりづらい。既存の鉄軌道を経由するアクセスか、空港バスでダイレクトなアクセスか、行き先別に優先度をつけて分かりやすく案内すべき。また、都心から空港へのアクセスのほうがいかに分かりづらい。博多駅の総合案内所での問い合わせも多いと聞く。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針2の主な施策「来街者にも使いやすい交通サービスの充実・強化」は、そういった取組みをイメージして記載しているが、もう少し広域交通拠点に係る記載を補足するイメージか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港と都心とのアクセスの話である。資料における広域交通拠点对策の記述だけでは十分に汲み取れないのではないかと考えている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に目標像2、3、4に関して具体化したい取組みについて意見を願う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針7「緊急輸送道路の整備」に関連して、当社の鉄道と道路の交差部分の橋梁における落橋防止対策と耐震補強を案として提案したい。</li> <li>・方針6「誰もが安全・安心な交通環境づくり」に関連して、鉄道ホーム上の安全対策という視点でホームの転落防止対策を挙げたい。博多駅が一番大きな問題だが、他の駅も含めて何かしら案を挙げることができればと考えている。</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針5「地域の実情に応じた生活交通の確保」に関連して、福岡市においても中山間地域や団地、鉄道駅から離れた地域については高齢化率も高く、生活交通の確保は重要だと考える。これについては、事業者というよりも福岡市の方でイニシアチブをとって、進めていただく性質の強い取組みだと考えている。現時点で、市の方で進めていきたいエリアや具体策などあれば教えていただきたい。</li> <li>・全体の話として、コメントと質問をさせていただきたい。コメントとして、地域公共交通計画について、都市交通基本計画に基づく計画として施策を具体化していくものと認識しているが、政策の概要について誰がいつ、何をするのかを明確に定めることが重要だと考えている。「誰」という部分については実施主体として書かれているが、「いつ」という部分については、計画期間の中で、着手時期、検討時期等についても決めていくことが施策の推進・実施にあたって非常に重要なことだと思っている。協議会のなかで、優先的に取り組む施策や重点的に取り組む内容については各委員から意見があるはずなので、計画素案については誰がいつ、何をするのかという観点を意識して作成いただきたい。</li> <li>・次に、質問として、地域公共交通計画の計画期間は基本的に概ね5年とされている。一方で上位計画の関係等その他の事情に鑑みて計画期間を変更することが可能となっている。今回作成する公共交通計画については、都市交通基本計画の策定期間等と合わせて10年間とする予定なのかを確認させていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間は、都市交通基本計画との関係から10年とする予定である。ただ、地域公共交通計画の位置付けは、この10年でも変化していくという認識のため、柔軟な対応ができるような計画にしていきたいと考えている。</li> <li>・方針5についての福岡市の状況だが、方針5の中で「バス路線の休廃止に伴う公共交通空白地における代替交通の確保」と、「公共交通が不便な地域における地域</li> </ul>

	<p>主体の取り組みへの支援の強化」の2点を記載している。1つ目に関しては現在、市内主に5路線5地域で取り組んでおり、基本的な公共交通を確保する上で重要な取り組みと認識しているため、引き続き取り組んでいく。2つ目に関しては、現在市内3エリアでオンデマンド交通の社会実験を実施しているが、その成果等も踏まえ、公共交通が不便な地域での支援制度の拡充を検討中であり、支援の強化として記載している。取り組む地域については、地域の意向も踏まえ検討を行うため、現時点で具体的な地域が決まっているわけではない。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針5について、弊社としてもオンデマンドバスを運行している。方針1の持続可能という部分にも繋がる話だが、「生活交通の維持・確保」という観点から、オンデマンドバスの運行、また代替しての導入も含めて検討していきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針4 「快適で高質な回遊空間の創出」について、社会実験からにはなるかもしれないが、行政と連携して実施していきたいと考えている。</li> <li>・方針6 「誰もが安全・安心な公共交通環境づくり」の「自転車等の適正利用の推進」について、自転車に限らず様々な乗り物が出てきているなかで、それぞれの乗り物の動き方やルール等適正利用の啓発活動について、働いている方や交通事業者と連携して行っていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針4 「快適で高質な歩行空間創出」について、道路空間の利活用を行っている。歩行者利便増進道路制度を使い取り組んでおり、引き続きエリアマネジメント団体とも共働しながら取り組んでいきたいと考えている。</li> <li>・目標像3の方針6の中の「公共交通や道路のバリアフリー化の推進」について、道路のバリアフリー化等行っているが、特に踏切でバリアフリー化が進んでない状況にある。鉄道事業者と連携しながら今後引き続き取り組んでいくことができると考えている。</li> <li>・緊急輸送道路の整備についても、取り組んでおり、特に跨線橋、跨道橋等を優先的に行っているため、引き続き連携しながら取り組んでいきたいと考えている。</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針3の中の「道路交通の円滑化」について、福岡市内は都市部のため、交差点改良等の抜本的な対策をしようとする、かなり長期化し事業費もかかるというなか、ハード面でできることは限られるという現状がある。渋滞解消の対策は、ハード施策でなくて、ソフト施策、いわゆる交通需要マネジメントと言われるTDM施策、特に自動車流入の抑制が福岡市では一番重要ではないかと考えている。その点で、記載されているパーク・アンド・ライド、フリンジパーキングはすごく良い取り組みだと思っている。引き続き公共交通利用促進を図りつつ、どうしてもハード整備を行わなければいけない部分はしっかり行っていくという形が良いと考えている。</li> <li>・福岡市と福岡国道事務所「まち歩かんね クルマ減らさんね（まちクル運動）」という、公共交通利用促進により、天神の街中への車の抑制を図る取り組みを行っている。公共交通事業者と道路管理者等が連携することが福岡市を良くすることにも繋がると思うので、皆さんの意見を聞きながら地域公共交通計画に記載していけたらと考えている。</li> <li>・情報提供として、3大都市圏を除く中核中核都市59市の中で福岡市の渋滞損失額は第一位になっている。全国の中でも渋滞で損失する時間が一番大きいと言われている。渋滞対策を行う上で、公共交通利用促進は重要な手法だと考えている。</li> </ul>

会長	・今回出た意見を基に事務局には交通事業者をはじめとした関係各所と調整を図りながら計画策定に向けた検討を進めていただけるようお願いする。
事務局	・本日の意見を踏まえ、次回協議会で示す素案を進めていきたい。今計画でどこまで具体化して書き込むかは次の協議会の前に各委員と適宜記載内容の確認をさせていただきたい。
	<閉会>